

謹賀新年 2015



『校友の集い～ホームカミングデー in 橋花祭～』を開催

立正大学校友会報
たちばな
TACHIBANA
No.24 2015.1.1

発行者 ●立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

発行人 ●山崎 和海

編集 ●立正大学学長室校友課

電話 ●03 (3493) 6673

ホームページ ●http://alumni.rissho.jp/

10万人を超える立正人のネットワーク
『オール立正』創りを目指して



校友会担当副学長 高橋 英
新年、明けましておめでとうございます。皆様のご多幸を謹んで祈念申し上げます。

皆様のご協力を頂戴し、昨年11月2日に平成26年度のホームカミングデーを成功裏に実施することが出来ました。この場を借りまして、ご協力を頂戴いたしました校友会加盟団体（同窓会、橋会、短期大学部・保育専門学校同窓会、郵政会）の皆様、大崎郵便局長、大崎・五反田の商店街の皆様、東京中小企業家同友会南部協議会様、ご協力いただいた企業の皆様、当日参加して下さいました皆様に、謹んで御礼申し上げます。

平成26年度のホームカミングデーは、前年度の反省をもとに、昼の懇親会を中心に据え、その前後にイベントを配置するという構成で実施致しました。平成26年度より校友課が事務手続きをお手伝いすることになった名譽教授倶楽部の先生方にもご参加いただき、名譽教授倶楽部総会とその後講演会（講師 高村弘毅名譽教授）を開いて戴きました。講演会には50名を超える皆様にご参加くださいました。

高等学校等で活躍されている本学出身の先生方にご協力いただいた「在職教員の先輩と話そう！プロジェクト」では、10名のOBの先生方が、教職を目指す現役学生たち20名に寄り添う時間を提供して下さいました。更に、キャリアサポートセンターが主催した「OB・OG先輩を囲む会」には、60名ほどの参加者があり、社会で活躍する卒業生から現役学生に、「働くとは」といったテーマについて、自らの体験に基づき示唆を与えて下さいました。ステージが設けられ活気にあふれた

学生広場では、「立正マルシェ」と銘打って、大崎・五反田の商店街の出店や同窓会による地方物産展、東北地方からの被災企業による物品販売が、学生の出店に混ざる形で行われました。特に同窓会による地方物産展は非常に好評で、昼までには八街の落花生などの商品が総て売り切れるといった盛況でした。

「わくわくさん」でお馴染みの久保田雅人さん（文学部史学科卒業生）のトークショーには、約百名の皆様が参加くださり、懇親会後に行われた「立笑（正）点」も、三遊亭神楽さん（法学部卒業生）ら6人の落語家の皆さんが楽しい時間を提供して下さいました。

懇親会は昨年6月にオープンした第2食堂（レパス）で実施し、各種イベントに参加戴いた皆様を含む百名以上の参加者で賑わいました。先ず山崎和海学長から挨拶を頂き、次に石井富美子副学長から、社会の一隅を照らすような地道な活動を繰り広げたOB・OG、現役学生を顕彰する「モラリス賞」受賞者についてご紹介を頂戴いたしました。乾杯後の懇談とお食事タイムでは、ホームページで事前に参加をお知らせしていた名譽教授の先生方と当日お越しの卒業生の皆様が懐かしく語り合う光景が広い食堂の至る所で見られました。

懇親会場には、産学連携の試みとして、本学の学生が熊谷市の権田酒造様とコラボして作ったお酒や、経営学部の吉田ゼミの学生諸君が作ったハイサワーカクテルの試飲コーナーも設けてありましたが、多くの参加者がこれら商品を気に入って下さり、お帰りの際に学生広場に設けられた予約販売コーナーに立ち寄り下さりまして、多くの注文を戴きました。ホームカミングデーを橋花祭にあわせて実施しておりますが、橋花祭の第1日目の入場者数は例年を2千数百名

をこえる9千837名で、OB・OGの皆様がこの参加者増に大きく貢献して下さいましたことは明白であります。

夕方行われた学生のカラオケ大会の折、ライトで照らされた学生広場に配したベンチとテーブルには、若い学生諸君らに混じって、壮年の方々のグループが複数集い、笑顔を浮かべながら昔話に花を咲かせ、写真を撮り合っている光景も見受けられ、「現役学生による現役学生のための橋花祭」が、「立正大学のOB・OGを含む立正人のための橋花祭」となっている姿を将に目の当たりにすることが出来ました。

山崎和海学長は、本学の校友会活動を、「10万人を超えた立正人のネットワーク（『オール立正』創りを目指す活動）」であると、「たちばな」などで語っておられますが、昨年のホームカミングデーは、その実現に一步を踏み出すイベントであったと考えております。

校友委員会などで頂戴した反省点を更に検討し、在学生とOB・OGとの交流、同窓生同士の交流や母校関係者と皆様との交流を更に促進できるように仕組みを考え出し、ホームカミングデーを、総ての卒業生と母校を繋ぐ一日に出来るよう精進してまいります。皆様におかれましては、この校友会の目標「オール立正」をご理解戴き、その実現に向けて、更なるご支援・ご協力を頂戴いたしたく、お願い申し上げます。

最後に、本年が、立正大学と「立正人」にとって、更り多き年となりますよう祈念申し上げます。



懇親会風景



高村弘毅名譽教授記念講演会



在職教員の先輩と話そう！プロジェクト



OB・OG先輩を囲む会
～社会を知ろう！先輩と会おう～



学生広場の風景



卒業生を中心とした「立笑（正）点」寄席、おおいに観客を沸かせました



大崎郵便局



東京中小企業家同友会 ヒーテックの体感フェア



応援指導部によるアトラクション



渡邊さんがオーナーシェフを務める、欧風レストラン「ラ・キャセロール」前にて



コンチネンタルレストラン ラ・キャセロール
オーナーシェフ

渡邊和幸さん
立正大学経営学部経営学科卒業

心休まるお食事をどうぞ

渡邊和幸(わたなべ かずゆき)さん

- 1951年 神奈川県川崎市生まれ
- 1973年 立正中学・高等学校を経て立正大学経営学部経営学科卒業
- 1974年 服部栄養専門学校卒業
- 1974年 六本木飯倉フランス亭シャドネーを経てパルコのマジックパンに勤務
- 1978年 西麻布ビストロ・ド・ラ・シテに勤務
- 1983年 南青山ル・ポアゾン・ルージュを経てレストラン・ロッシュにシェフとして勤務
- 1985年 欧風レストラン・ラ・キャセロールを開店

「おもてなし」の心を大切に

1964年の東京オリンピック、その2年後にビートルズ初来日。そのよ
うな時代の中、私は立正中学校・高等
学校で多感な時期を過ごしてまいり
ました。一昨年、東京オリンピックの
再度開催が決まりましたが、まさか
2020年に、また日本でオリンピッ
クが観戦できると思ってもおりませ
んでした。2020年、私はまだ前期
高齢者でありますので(笑)、多分観
戦は可能かと…思っております(笑)。

一昨年、東京オリンピック招致に臨
んだプレゼンテーションの席で『おも
てなし』という言葉があらためて注目
されたことは記憶に新しいことです。
外国語に翻訳できない、特別な意味を
持った奥深い日本語です。たまたま
はありますが、料理人である私は、い
つも『おもてなしの心』を大切に、料
理を提供させていただいております。

料理好きだった幼少時代 ニックネームは「コック」

幼少の頃より料理好きで、何よりも
食べることが大好きな私でした(笑)。
それゆえに、結構良い体格をしており
ました。当時、エースコック食品のキャ
ラクターがあり、これに因んで『コッ
ク』のニックネームで呼ばれておりま
した。大学に進学しても『コック』の
名は健在で、現在でも友人の間では、
このニックネームで通用しているよう
です。

専門学校時代を経て現場へ 12年間の料理修業

大学卒業後、服部栄養専門学校に進
学した私は料理人としての第一歩を歩
み始めます。料理好きと申ししても
所詮素人でありましたから、学ぶこと
すべてが新鮮で大変興味深いものでし
た。

私が調理師としての基本を身に付
け、料理の世界に就いた現場はフレ
ンチレストランでした。もともとフラン
ス料理に強い興味があり、現在の道に
入りました。一からフレンチの道を歩
むことは容易ではありませんでした。
シエフをはじめ、沢山の先輩達がいる
職場でした。年下の先輩も当たり前
のようにいらつしました。

料理界でも言うのは、実戦で積み
上げられた経験と技術でした。私は
12年間の料理修業を一流と呼ばれる
レストランで重ね、1985年にオー
ナーシエフとなるのですが、料理に心
を添える『おもてなし』の無限の修業
は、今もなお続いております。

自然豊かな毛呂山町に 『ラ・キャセロール』開店

私は埼玉県西部の東武東上線越生
線にある、東毛呂駅前に居所を決め、
30年ほど前に欧風レストラン『ラ・
キャセロール』を開店しました。店
の屋号は私のもう一つのニックネー
ム『なべ』渡邊のなべが転じて、鍋
Casserole に由来してございま
す。開店以来、近隣の皆様に愛される
店作り而努力しております。弊店は毛
呂山町にある埼玉医科大学に近く、同
大学の学生や教授の皆様に利用してい
ただいております。

毛呂山町は、とても自然豊かな地域
で、「ゆずの里」として知られ、春は
鎌北湖周辺の桜まつり、秋は紅葉まつ
りで賑わい、小高い臥龍山にある出雲
伊波比神社の流鏝馬では、沢山の観光
客が訪れます。年間を通して、奥武蔵
自然歩道をハイキングする方々も多く
いらつします。自然に恵まれた環
境で食材も豊富にありますので、『コッ
ク』は調理人魂に火が点き燃え上がる
のです(笑)。

特産の柚子を使用したグラニテや柚
子風味の近海魚ボワレ、鴨のテリーヌ
などを織り込んだコース料理に人気が

あります。最近では私の六本木、渋谷
時代に培った、ケーキ等の御菓子作り
にも力を入れております。パティシエ
としての技術は30年ほど前に「ル・ポ
アゾン・ルージュ」の製菓部である
「ラ・ボンムベール」や渋谷パルコの
日本のクレープの先駆け店である、「マ
ジックパン」で身につけたものです。
今では一般化している「ミルクレープ」
は私のパティシエ仲間が考案したもの
でありました。弊社ではチーズケーキ
部門で金賞をいただいた「スフレチー
ズケーキ」が自慢の商品となっております。
地元をはじめ、東京や神奈川県のお
客様にも好評をいただいております。
これからも、楽しいお食事やティータ
イムに心を休めていただけたらと思っ
ております。



ラ・キャセロールでは、お料理に心を添えて『おもてなし』しています

一つ釜の飯を食った仲間と

大学では商法ゼミに参加し会社法を
中心に指導いただきました。ゼミでは
「一つ釜の飯を食った仲間」で、付き
合いは長く指導教授や友人との交際も
45年間の長きにわたっております。

私たちのゼミは、やむを得ぬ事情が
ない限り、欠席はできませんでした。
当時は3年次からゼミの履修が可能に
なるのですが、人数制限がありました。
私たちのゼミでは、新ゼミ生の選考
は先輩が面接を行い、選抜しておりま

した。それだけに、先輩の権限は強く、
大変なものでした。夏のゼミ合宿は
厳しいもので、4泊の合宿の勉強は、
毎日12時間に及び、食事以外は六法
全書や判例集を片手に、出題レジュメ
を研究するものでした。今思えば、私
はゼミで学問する楽しさや厳しさを知
りました(笑)。2学年合同の合宿で
したので、後輩の中には、合宿中の処
遇に対し、私たちに食ってかかる後輩
もおりました。先輩が後輩の面倒をみ
るのは当然でしたが、それでも最終日
の仕上げコンパでは乱闘寸前の状況
(笑)。想い返せば楽しく充実していた
時代でした。卒業時に、指導教授が銀
座でお祝いして下さった時にも武勇伝
があり(笑)：現在でも懐かしく話を
することがあります。大学での「一つ
釜の飯を食った仲間」は今でも指導教
授を中心に健在です。

在校生へのメッセージ

大学は学問する場所であることは言
うまでもありませんが、自身の目的を
模索する場所でもあります。たくさん
の人々と出会い、生涯の人間関係を見
出せる場所です。積極的にサークル、
ゼミ、アルバイト等の場に身を投じ、
大切な人々との出会いのために大学
生活を過ごしてみたいかがでしよ
うか。私も美味しい料理とお菓子を用意
して、皆様とお会いできるのを楽しみ
しております。

コンチネンタルレストラン
ラ・キャセロール
埼玉県入間郡毛呂山町岩井西2-7-11
(東武東上線越生線 東毛呂駅より 徒歩1分)

お問合せ 049-294-0409
OPEN AM 11:00 / CLOSE PM 10:00



お気に入りのスイーツ店にて

Kairos Consultancy Sdn.Bhd. (1078257-T)
カイロスコンサルタント株式会社
(マレーシア現地法人)
共同経営責任者

王艶(ワン イェン)さん

経営学部経営学科卒業

マレーシア・ジョホールバルを通じ、和僑の輪を広げたい



王艶(ワン イェン)さん

1982年生まれ。中国出身。立正大学経営学部経営学科卒業。在学中は秦野真先生の金融ゼミに所属。

趣味は写真、ゴルフ、バスケットボール。勝手に「スラムダンク」一桜木花道のファンクラブPR部長。

大学卒業後証券会社に入社し、その後外資系コンサルティングファームへ転職、PWC、デロイトトーマツコンサルティングを経て起業し現在に至る。

アジアパシフィック医療福祉総研株式会社(日本法人) CEO 兼務。

(NPO) 非営利活動法人 人材開国振興協会 外国事業部部長兼務。

大学時代の思い出

私は中国で生まれ日本の漫画を見ながら育ってきました。小さい頃から日本のアニメや文化に触れ興味をもち留学を決め、そして尊敬する松下幸之助の人生観に惹かれ幸せになる経営感性に刺激されて起業に至っています。希望であった経営学部へ入学を果たすことができ、そして大学生活は自分の夢を追った苦しくも楽しい学生生活でした。苦しかったことを話すと切りがありません。とにかく最初の課題は生きるための食生活を確保することで最低限の生活が続きました。しかし目的を失うことなく卒業できたのも親切で丁寧だった先生のお陰、又親切で優しい日本人友達に助けられ今ではその方々に感謝しています。

そんな中、在学中からどうしたら経営者になれるのか? 経営者としてのスキルは何だろうか? いつも自分なりに考え、行動したりしていました。必修科目以外会計、金融、法律、マーケティング、ITを中心に選択し、授業では前列に座り講義を録音していました。録音はあくまでも日本語能力を高めるため家で何度も反復勉強するために先生の許可をいただいて録音していました。やがて段々と日本語が上達したこともあって、より先生の授業が集中できるようになり楽しくなりました。本当に毎回、毎回新しい知識との出会いがあり楽しかったです。

部活という学校活動は中国ではあまり普及していないため、入っていませんので部活の体験がなく、今思うと残念で少し寂しい思いがあります。又生活のために日本の社会に触れることを目的として、日中のビジネスに携わる日本人ビジネスマンを相手に中国語家庭教師のアルバイトをやりました。それをきっかけに情報を得て中国から洋服を輸入しインターネットで販売した

現在の仕事について

り、外国人留学生の仲介ビジネスを手助けしたりと手掛けていきました。そして金融ゼミで学んだ知識を生かし少しだけ稼いだ資金を元手に株式投資を始め、これが後程の就職に役立つことになりました。このように私は思う存分自分の夢に浸りながら大学4年間の生活はあっという間でした。導いていただいた秦野先生はじめ皆様にとっても感謝しています。

職業経歴から話します。新卒で証券会社に入社し国内投資家向けに株・投資信託などの提案販売を経て、外資系コンサルティングファームに転職し日系企業の海外進出するサポートなどの業務を担当しました。専門知識以外にビジネスマンとしてのスキルを学びました。「相手のために、役に立ちたい」というマインドが仕事の原動力になりました。そして、現在の仕事はこれまでの資産運用とコンサルティングの経験がベースとなっています。

現在は、複数の組織の運営管理に携わっています。アジアパシフィック医療福祉総研株式会社とNPO法人は医療と福祉の国際交流を実施しております。カイロスコンサルティング株式会社の主な業務内容はマレーシア・ジョホールバルの不動産販売、移住や留学サポートをやっております。

カイロスはギリシャ語で「チャンス」「時」を意味し、ギリシャ神話に出てくる「チャンス」の神様、カイロスは前髪しかない後頭部の禿げた美少年です。それは「好機はすぐに捉えなければ後からとらえることはできない」という意味のようです。

ジョホールバルは正にそのチャンスのある場所、シンガポールの対岸に位置付けられ香港とシンセンをモデルにした「アスカンダル計画」と題して国家開発プロジェクトが進められています。

今後の目標について

誘致の目玉プロジェクトは「医療」と「教育」領域です。ジョホールバルはマレーシア第2の州ですが開発に遅れをとり急ピッチで開発が進められ、更に大型の都市計画が実現できるようになることはまだまだ大きなチャンスが潜んでいます。私は現在マレーシア人と共同経営をしながら法人向け及び個人向けに不動産販売を手掛けています。一年中温暖で、物価も安く治安も良く、税の軽減などたくさんの特典があり、又、現地購入は手数料の点でもかなりのメリットが出てきます。最近では若い夫婦の子供教育の場として(英語圏)国際的な人材に育てたいとの思いで、不動産を購入されたり、投資として転売されたりと考え方もグローバル化し多様化しています。

3. 1以後、マレーシアの移住ビザ(MM2H)を取得する日本人が急増しています。主な理由は原発避難や地震避難などの逃避もありますが、先ほど述べた通り、一年中温暖な気候と豊かな人間の集まり、そして治安の良さといった高齢者だけでなく若者にも大変人気があるリゾート地です。私は3. 1を日本で経験し、自然災害と闘う規律正しい日本人の姿に感動し、カン、日本脱出、なんて言葉に言えるはずもなく、「そんな折に海外移住など日本人には考えられないだろう、ピンとこないだろう」と思っていました。確かに現在の日本は素晴らしい国であることに間違いはありませんが、他国を知って又自国の良さを再認識することも必要ではありませんか?

マレーシアは多民族国家で国際的な感覚を身につけているほか、高い質のイギリス式教育システムにも関わらず欧米留学費用よりかなり割安といわれ、英語以外中国語・マレー語も同時に習得できます。又、皆が国際人であ

り陰湿ないじめといった教育問題もないようです。

私はこのような海外留学なども含め海外へ飛び出したい日本人のサポートを強化していきたいと思っています。生涯のうち一度は島国から脱出し、人生の何分の一でも海外で生きていくことを経験し、豊かな人生設計が出来ることのアドバイザーに生き甲斐と喜びを感じたいと思っています。私は自分の経験を活かしつつ、海外で苦労することは大変だからこそ強くなれる思いを、丁寧に伝えたいですね。そしてそれはひとりひとりと強い大和人を作り「和僑」の輪がいつれ日本にも中国にも世界の平和にも貢献することを信じて活動したいと思っています。決して人材流出、資産流出ではありません。

在校生へのメッセージ

青春を冒険しながら楽しもう! として「全ての道はローマに通ず」、しかし時には遠回りも必要です。「若くは最良の武器であり人生で一番輝く時! 失敗を恐れず、無我夢中に青春を過ごしてほしいと思います。」

Go! Let enjoy Springtime of Life!

※注:「和僑(わきょう)」とは海外進出し現地籍を持つ日本人起業家を指す。(出典: Wikipedia)



Kairosの日本とマレーシア 主要チームメンバー(東京にて)



北京で開催された国際医療福祉会議にプレゼンターとして招かれた



立正大学同窓会

会長 ●野坂法雄
 創立 ●昭和35年(1960)
 会員数 ●約13万人
 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
 電話 ●03(3493)6673
<http://alumni.rissoho.jp/>

ホームカミングデー in 橘花祭が終了しました

謹賀新年
2015



全国の同窓生校友の皆様、あけましておめでとうございます。
 立正大学校友会は昨年6周年を迎え、新たな一歩を踏み出しました。立正大学同窓会も校友会のもとより一層の発展と同窓生の絆作りに取り組んで参ります。
 2015年全国でご活躍の同窓生校友の皆様にとって最良の年になりますよう、ご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

ホームカミングデー in 橘花祭と同窓会



立正大学同窓会副会長 西岡勇治

ホームカミングデー(HCD) in 橘花祭と同窓会として協賛参加して2年目を迎えた。昨年は一昨年より多くの支部に参加いただきことができました。橘花祭会場も広く十分な空間を確保いただきました。

ホームカミングデー(HCD) in 橘花祭と同窓会として協賛参加して2年目を迎えた。

た。少しずつではありますが、現役学生との交流の場ができてつとあると感じています。

協賛参加いただいた支部は15県2学部です。北から順に紹介させていただきますと、青森県(南部煎餅)、岩手県(盛岡冷麺)、宮城県(梨)、新潟県(笹団子)、群馬県(チャリティーシャツ)、埼玉県(味噌ピーナッツ)、千葉県(落花生)、山梨県(菓子三種等)、岐阜県(富有柿)、奈良県(蚊帳ふきん)、島根県(しまねこグッズ)、広島県(もみじまんじゅう)、香川県(曾保みかん)、小豆島素麺)、熊本県(くまもんグッズ)、沖縄県(ちんすこ)、文学部(防災グッズ)と法学部(卒業生異業種交流会)など多彩な内容でした。

売り上げ総額は十万円を超え、現役学生の奨学金に寄付をさせていただきました。多くの支部からHCD in 橘花祭に協賛参加いただき、また奨学金への寄付にもご協力いただいたことに感謝申し上げます。

今年もさらに充実した協賛参加を進めていきたいと思っておりますので、多くの支部の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、協賛参加の重要な視点は、各県支部の逸品を売ることや売り切ることはありません。逸品の紹介や販売を通して、現役の学生や、大学近辺の居住者に各地で活躍する同窓生を知っていただくこと、そしてそのオール立正の輪を大きくする交流の場としていただくことでもあります。是非、来年の参加の際には、交流の場として利用いただけるよう、また交流の時間にも余裕を持ったスケジュールをお立ていただくようお願いいたします。

この活動を通じて、立正同窓生の輪を大きくし、全国いたるところで活躍する同窓生をお互い励ましあいたいものだと思います。最後にここで出会った同窓生の皆さんと今年、富山県で開催される同窓

会総会でお会いし、更にオール立正の輪を広げ、旧交を温めあいたいと思います。同窓生の皆さん、富山でお会いいたします。

事務局長会議



事務局長会議

懇親会



第2食堂「レバスト」での懇親会風景



石井副学長より「モリス賞」受賞者の紹介



高橋校友会担当副学長による挨拶



山崎学長による挨拶



学生広場にも出展



経営学部吉田ゼミ生たちが作ったハイサワーカクテル試飲コーナー



学生たちが熊谷市の権田酒造様とコラボして作ったお酒「立笑」の販売



地方物産展での千葉県支部同窓会によるピーナツ販売



文学部同窓会による出展コーナーでは西岡副会長自ら防災グッズを販売



地方物産展での埼玉県支部同窓会による販売



立正大学郵政会

会長●市川幹
創立●昭和34年(1959)
登録会員数●5,000人
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電話●03(3493)6673

平成26年度 立正大学郵政会 10月8日(水) 本部役員会/関東・東京支部合同総会開催

立正大学郵政会は、平成25年4月1日より活動を再開し、本部役員会及び関東・東京支部合同総会を10月8日(水)に品川キャンパス8号館で開催しました。

●役員会終了後、同じ会場にて関東支部総会(市川幹支部長)及び東京支部総会(井口哲治支部長)を開催し、活動報告・収支決算報告・監査報告を原案通り承認可決しました。



立正大学郵政会事務局長 早藤眞司
本部役員会及び関東・東京支部合同総会を開催しました

新年明けましておめでとうございます。皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

平成26年10月8日、本部役員会及

び関東・東京支部合同総会を立正大学品川キャンパス8号館において開催いたしました。その後、場所を2号館12階ラウンジへ移して関東・東京支部合同で懇親会を実施しました。
伝統と歴史を誇る立正大学郵政会も大先輩校友発足に伴い校友会構成団体として再出発してから早一年7ヶ月が経過しようとしております。
又、昨年6月には全国支部長会議も開催され全国組織としての基盤も整いつつあります。

この間、会員各位には何かと郵政会発展のためにご尽力いただいております。心から感謝申し上げます。
全国各支部においては支部総会を開催していただき、それぞれ地域の特色を反映しながら活動していただいております。

この様な状況の中、10月8日の役員会において、市川会長及び星紀之副会長より、会員相互の絆と結束を深めるための情報の共有化が必要であり、大学側の各種情報の提供及び各支部の活動状況を紹介する会報の発行が提案されました。

すでに、東北支部(星支部長)においては会報が発行されており参考とさせていただきます。

検討の結果、①担当責任者には鈴木良知企画部長を充てる。②年2回程度の発行を予定する。③標題は旧会報で使用していた「あらたま」とする。④発行部数は予算の関係も有り各支部20部程度とし、不足分については各支部においてコピー出来るような体裁とする等の基本事項を決定いたしました。

現在、鈴木企画部長が素案を作成中です。近日中に各支部の皆様には素案をお示しできると思っていますので、ご意見、ご要望等をお寄せ下さい。

その他、当日の役員会においては、①小字化時代における学校経営の課題及び郵政会の役割。②会員増強施策等が検討されました。

役員会終了後、同じ会場にて関東支部総会(市川幹支部長)及び東京支部総会(井口哲治支部長)を開催し、活動報告・収支決算報告・監査報告を原案通り承認可決いたしました。

これから郵政会の活発な会議運営と会員相互の研鑽・交流・親睦、又、学生募集・就職活動支援及び大学への積極的な協力等、今後の発展に向けて皆様と共に取り組んでまいります。

郵政会の更なる発展・組織強化のため会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



懇親会風景



全員揃って(3枚とも撮影:古田誠一)

平成26年度 立正大学郵政会 11月15日(土) 東北総会開催

東北管内の立正大学郵政会卒業生(544名)で構成する立正大学郵政会東北総会を昨年11月15日、秋田県角館市の角館温泉「花葉館」で開催しました。

●浅野仙台北郵便局長の司会により、市川郵政会長から挨拶と全国各地の総会開催状況等の報告があり、引き続き、星郵政会副会長・東北郵政会会長から郵政会の今後の使命・役割について説明がなされました。



この会は、立正大学郵政会の伝統を卒業生として高い誇りを持ち、継続して後世に伝える目的で、30年程前から東北各地を持ち回りで開催しており、今回は秋田県で行われ、約30名の会員が集まりました。

一昨年の宮城県に続き開催された背景には一昨年6月28日に全国郵政会が再出発したことを踏まえ、昨年6月に開催された全国総会における事業報告と収支決算報告を兼ねて開催されました。会員の皆様のご協力により無事終了することができました。

総会の議事では、浅野仙台北郵便局長の司会により、市川立正大学郵政会長から挨拶と全国各地の総会開催状況等の報告があり、引き続き、星郵政会副会長・東北郵政会会長から郵政会の今後の使命について、創立当時から今に至るまで踏まえながら今後の少子化に伴う学生数減少への対策、これに伴う郵政会の役割について詳細な説明がなされました。

今後、全会員向けの会報発行を通じて、情報を周知するとともに、同窓生会員が共通した認識を持ち、継続・発展をしていくとの力強い意見が相次ぎました。

総会の締め括りとして、齋藤元秋田県早口郵便局長から次の要旨の大会宣言が発せられました。

【宣言要旨】

我が立正大学郵政会は、市川会長、星東北郵政会長からのご説明にもあったように、昭和34年に創立し、6800名の修了生と5400名の郵政グループ社員を輩出してきた日本の私立大学の中でも特異で高い実績を積み上げてきた組織である。

昨年、一時的な休止状態から「地方代表者会議および総会」を経て再出発を図ったことは皆様承知の事実です。

本日開催の「秋田県大会」は立正大学郵政会が更なる発展と会員相互の親睦と絆を今まで以上に強固なものに

し、我々の後に続く有能な郵政社員を継続的に、また力強くバックアップし続けることにより、国家、国民の財産である郵政事業の発展に大きく貢献するための意義ある大会であることをご参加各位の心に深く刻み、益々健康で応援し続けることをお誓いし総括大会宣言とします。



東北郵政会の発展を願って



総会風景



謹賀新年 2015

平成26年度 立正大学保護者懇談会の 全日程を終了致しました



立正大学橘会

会長 ● 出口幸祥
創立 ● 昭和39年(1964)
会員数 ● 約10,000人
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電話 ● 03(3493)6673

立正大学(大学院会)在校生のご父母もしくは保証人の皆様を会員とする団体です。

新年のご挨拶

立正大学橘会会長 出口幸祥



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は全国各地における天災、台風などの災害がありました。未だ多くの人々がその復興に苦勞しておられます。その方々が一日も早く元の生活に戻り、平常な日常生活を送れる事を願い、心よりお見舞い申し上げます。

さて、橘会は、子供たちが有意義な学生生活を送れるように、大学と密接に連携しつつ、保護者の立場から支援することを目的として活動しています。これまで大学や学生生活の情報を保護者の皆様に提供し、皆様からの大学側への要望を伝達して参りました。また、保護者同士の情報交換や交流ができる機会とした全国各地で保護者懇談会を開催しています。この保護者懇談会は会員の皆様と大学との連携を図る上で大変重要な活動で、最も重点を置いている事業です。

今年度も6月から11月にかけて保護者懇談会を開催致しました。場所は、郡山(6月1日)・熊谷キャンパス(6月15日)・静岡(6月22日)・千葉(7月6日)・盛岡(8月31日)・長野(9月7日)・新潟(9月27日)・横浜(10月5日)・福岡(10月12日)・神戸(10月18日)・広島(10月19日)・品川キャンパス(11月9日)の12会場で開催いたしました。当日は大学教職員による「大学の現況」等の説明に加え、毎回同行される先生方もしくは、地元の卒業生の「講演会」、「父母のための就職講座」を開催致しました。

特に「父母のための就職講座」ではキャリアサポートセンター協力のもと、親としてどう向き合えばよいのか、協力・サポートできることは何か等、就職活動に関する動向・指導方針・就職状況を説明致します。就職、就職活動でお子さんが悩まないためにも、人

生のアドバイザーとして就職活動の実情を知って頂きたく思います。

また、個人面接の時間は学部より用意された成績・各種資料をもとに学業・学生生活について疑問、各種制度の内容等を直接先生に質問できる場になっております。軽食懇親会では同じ立正大生を持つ保護者の皆様に懇親・情報交換の場を設けております。立正大生の保護者同士が交流するまたとない機会かと存じます。

保護者懇談会は、保護者と立正大学教職員が一丸となって子供の大学生活をサポートをしていくことを目的として開催しております。

基本的に、橘会は役員が中心となって運営し、また、評議員の方々にもご協力いただいております。今後も会員の皆様にご協力いただき事があろうかと存じますが、その節には何卒宜しくお願い申し上げます。会員の皆様一人ひとりが保護者の立場から何ができるかを考え、子供たちが希望する形で社会へ巣立って行けるように見守っていただくことが重要であると考えます。今後も、厳しい社会環境の中へ順応して行かねばならない子供たちのために、橘会としても、支援し続けていきたいと思っております。様々な形で皆様会員同士が情報、意見を交換し合い、積極的に、橘会へのご参加ご協力をお願い致します。私からの新年の挨拶にかえさせていただきます。

保護者懇談会東京会場を開催しました



山崎学長挨拶



古河理事長挨拶

11月9日(日)に今年度最後となる保護者懇談会を品川キャンパスにて開催しました。これにより平成26年度の保護者懇談会の全日程を終了致しました。ご協力頂きました皆様、ご参加頂きましたご父母の方々に感謝申し上げます。

盛岡会場

日時：平成26年8月31日(日)
会場：ホテル東日本盛岡
参加数：30人

保護者懇談会に参加して



熊谷清子(秋田県) 初めての懇談会なので少々緊張しながら、夫婦一緒に出席しました。

挨拶とともに和やかな進行にとても安心致しました。大学の方針や学生の活躍などの様子を説明いただきとても良かったです。

卒業生の岩手県立博物館長の山中さんの講演も、出席保護者の方々には耳を傾けて熱心に聴ける内容のお話でありました。軽食懇親会後の個人面接は、保護者にとりましては、待ちに待った時、直接先生方とお話ができるチャンスであったと思います。少し残念なのは担当学部の先生からお話しを伺いたかったと思います。私たちの様に東北などの地方に住んでおりますと、なかなか大学まで行く事が出来ませんので、より詳しいお話が聴けるようにと思います。

保護者懇談会に出席してよかったと思っております。さらに、学生たちにとって、立正大学で学び、沢山の経験等得る事が出来るようどうかよろしくお願ひいたします。盛岡会場へいらしていただきました大学関係者の皆様大変お世話になりました。

保護者懇談会に参加して



藤谷ヨコ(盛岡) 盛岡で開催された東北地区の保護者懇談会に主人と共に参加しました。

感想としては、学校の紹介の中で、大学の「ブランドビジョン」である「モラリスト×エキスパート」を育

む」とあり、「変わらない信念」と「変わる柔軟性」を識別する知恵を持って「人類社会の発展に貢献しうる有為な人材」として活躍してほしいという願いが込められているとのこと。また、大学は「学生のために存在し、学生一人ひとりに対して丁寧できめ細かい良質の教育を行い、優れた教養と高い専門性を身に付けさせることが最も重要と考えている」ということを知りました。

学生達や卒業生の方々の幅広い分野での輝かしい活躍は、このような環境の中で育まれているのではないかと思っています。我が子の大学生活にも期待が膨らむ思いで説明を聞いていました。

私が今回の懇談会で一番興味を持っていた就職講座では、私達親世代の就職環境とは大きく異なることについて説明がありました。一番大きな違いは、求人情報やエントリーの殆どがWeb上からとなっております。PC、スマートフォンが就職活動には欠かせない存在になっていくこと。また、企業が期待している社会人基礎力が不足しているが、学生は気付いていないので、それを気付かせ不足している力を日々の生活の中で養って行くことが大切だとのこと。私達親がサポートすることは当然ですが、大学でもキャリアサポートセンターで各学年に応じたプログラムが準備されているとのこと、子供には積極的に確認してほしいです。

個人面接においても丁寧な対応であり、少しだけ大学生活を垣間見ることができ、短い時間ではありましたが、とても有意義な時間を過ごしました。来年も機会があれば、参加したいと思えます。

長野会場

日時：平成26年9月7日(日)
会場：ホテル国際21
参加数：32人

保護者懇談会に参加して

上原哲二(長野県)



私は、9月7日地元長野市で開催されました「立正大学橘会保護者懇談会」に参加させていただきました。

昨年の熊谷会場に続き2回目の参加でした。実は、私も本学の卒業生であり、在学中、同じような懇談会に両親が参加しており、「大学」の刺激を受けていたことを覚えておりました。そのことから「自分の子供も大学へ行ったら懇談会へは必ず参加しよう」と考えており、参加させていたできております。まさか、息子が本学に進学とは、正直考えてはいませんでした。

講演は、本学の卒業生でもありません、「株式会社八幡屋磯五郎」代表取締役の室賀豊社長。そのういえば、本学食堂の七味は「八幡屋磯五郎」製だったよ。うな。おそばにこれほど合う七味は他にはないと思います。

続いて、キャリアサポートセンター吉岡先生の「父母のための就職講座」。先生からの「現在の就職活動は、お父さん・お母さんの時代とは違いますから。」のご説明。何より、「就職率」の数字のからくりのお話は興味深く聞かせていただきました。

個人面接での担当は工藤先生。お話を伺うと、熊谷に住まわれていることがあったか。アパートが私の住んでいた所のお隣。息子の話は何処へ。親としても十分楽しんでました。最後に軽食懇親会冒頭、長野県同窓会中島会長さんからお挨拶があり、「皆さんのご子息にも是非同窓会に出席していただきたい。就職で困ったことがあれば相談ください。バックアップします。」と力強いお言葉をいただき、ひどく感銘しました。

当日は、同じ世代の同じ大学の子供を持つ親同士の懇親が深められ、先生方とも情報交換することのできる場で、大変有意義な一日でした。しかし、参加者の少ないことに寂しさを感じました。保護者の方へ、折角の大学側の情報提供の場ですから、次回開催のと

新潟会場

きはたくさんの方との新たな出会いを
したいなあ、と考えています。

●日時：平成26年9月27日(日)
●会場：新潟東急イン
●参加数：40人
●保護者懇談会に参加して

石原和子(新潟県)

9月27日、新潟市に於いて開催され
ました保護者懇談会に参加いたしまし
た。一昨年に続き2回目の参加となり
ます。一昨年は会場の様子から、
超緊張して会場に向かった事を思い出
します。懇談会は教職員、役員紹介、
挨拶から始まり、学生たちの全国区で
の活躍の報告、学内施設の新規開設報
告など、学内の変化を知りました。

就職講座では下垣キャリアサポート
センター部長から、求人、就職の現状、
在学生のスケジュールや親と子の係わ
り方などをお話しいただきました。子
供の独立や就職についてのチェックリ
ストはどの項目も子を想う親の甘さや
過大な期待をチクタクとさす質問があ
り、子供とよく話し理解を深めること
がより良い就活につながると思いま
した。

講演は清水社会福祉学部長の「社福
哲学の必要性」でした。あつという間
のお話しでもっと広く深くお聞きし
たい時間でした。

個人面接ではゼミの先生から直のお
話しを書面を通して伝えていただけ
るので、子供たちの日常を聴く良い機会
と思います。

今回の懇親会は同窓会総会の後の合
同開催となり、立正OBの皆様とお話
しをする機会を得る事が出来ました。
短い時間で、職業は様々ですが、学生
時代の懐かしい話や、元教員の方から
は「今日はどちらからか」との話から
任地での話しに盛り上がり、楽しい時
間を過ごしました。交通機関の都合等
で懇談会から懇親会への参加者が少
なくなってしまうのも仕方ないこ

とかも知れませんが、残念でした。清
水先生は、「保護者懇談(親)会は、O
HB・保護者・学生が一体となってお
互いの道をつなぐ、そんな場所になっ
てほしいんだ」とおっしゃっていま
した。私もそう思います。

保護者の皆さん、お忙しいでしょう
が、堅苦しい会ではありません。少し
遠いですが、親も子供の通う学校に関
心をもってみましょう。来年は大勢の
ご参加を期待します。

横浜会場

●日時：平成26年10月5日(日)
●会場：コンベンションルーム
AP 横浜駅西口
●参加数：59人
●保護者懇談会に参加して

榎本義隆(東京都)



榎本義隆(東京都)
就職活動を始め
る学生に競技者経
験のある武井壮が
「大学はポケットに
入れられる沢山の
宝石がある、大人は
宝石を身に付けて
いない人がすぐに
解る、沢山身につ
けて卒業しよう」と
授業参加や練習の
努力を促すTV番組
が話題になりました。
親の立場ですが懇
談会で頂戴した宝
石を持ち帰り、家
族と学校や就職の
話をしました。皆
様も、ご参加され
ることをお勧めい
たします。

齋藤文学部長より、立正大学の東京
五輪への連携、社会福祉学部による
ボランティア開催支援、代表入りが期
待される女子ラグビーの明るい話題を
頂きました。

ついで大学生の覇気について、御専
門の英語にも関係する「少年よ大志を
抱け」は、札幌農学校一期生の校長か
ら教えを受けた石橋湛山先生の「覇気
を持って学生生活を送り、卒業する」
教えに続く、クラーク博士とのご縁を
感じました。交通事情による時間短縮
が本当に残念した。

「父母のための就職講座」は、草川

課長のご経験と最新動向に基づき、地
元就職がそれ以外か内定取得前に家族
で話し合う、複数社内定の場合、顧客
情報から安定性は判断できるが最後は
本人が決定する、インターンシップの
利点と注意点、就職ナビと大学への求
人の利用法、企業説明の時期変化、首
都圏に集中した就職は狭いなど情報を
沢山ご紹介いただき、子供の就職活動
にあたり知るべき事柄の多さに驚くと
ともに、緊迫感を感じました。

個人面接では、出席状況や、就活に
向けての貴重なアドバイスを頂戴いた
しました。

列車事故や大型台風の影響により、
関係者の皆様、特に橋会の高見副会長
の御苦労は、通常以上であったと存じ
ます。お礼を申し上げます。

福岡会場

●日時：平成26年10月12日(日)
●会場：TKP博多駅前シテイ
センター
●参加数：15人
●保護者懇談会に参加して

熊谷雅之・初音(大分県)



一人っ子の我が
家では大学行事等
は体験することが
全て最初で最後
の経験になります。

保護者懇談会は以前から出席したい
とは思っていましたが、息子が3年生
になって就職活動が本格化するこの時
期に初めて参加させていただきまし
た。まず、最初に経営学部の柏戸学
部長の挨拶では大学の概要から近況の活
動内容等を報告して頂き、改めて立正
大学の歴史の重厚さとこれからの益々
の発展が期待出来ました。続いて、熊
谷キャンパスキャリアサポート課の吉
岡キャリアサポート課長から「父母の
ための就職講座」ということで就職活
動に関する核心をついた情報を伺いま
した。

ここまでは少し緊張気味でしたが、

懇親会が始まると私たちの正面に柏戸
先生が座られ、私たちの息子は社会福
祉学部で柏戸先生にとっては専門外に
もかわらず、とても親身に対話指導
していただき、緊張もほぐれ感謝して
います。ただ残念だったのは、台風19
号が接近中の関係で他の参加者との懇
親の時間が十分にとれなかったのがと
ても残念でした。

最後に個人面接があり、担当の吉岡
キャリアサポート課長が息子の日頃の
ゼミ等での活動内容を詳細に記した用
紙を持っておられ、個々の学生に注視
されている現状に感心し、うれしく思
いました。本題の就職活動についても
的確なアドバイスをしていただきました。

今日の事を息子に話し積極的なキャ
リアサポートセンター等の利用を促
し、親としても就職活動について吉岡
キャリアサポート課長の指導を参考に
側面から助力したいと思えます。

保護者懇談会に参加して良かったで
す。どなたでもきつと何かしら得るも
のがあると思えます。最後に、このよ
うな場を設けていただいた大学の教職
員および橋会の役員さん、本当に有り
難うございました。

神戸会場

●日時：平成26年10月18日(日)
●会場：チサンホテル神戸
●参加数：10人
●保護者懇談会に参加して



平野 恵(京都府)
10月18日神戸会
場において開催の
保護者懇談会に参
加しました。

佐々木橋会副会長のご挨拶に続き、
古屋心理学部長より最近の大学の様子
について説明をいただきました。
続いて、下垣キャリアサポートセン
ター部長の「父母のための就職講座」
を受講。①就職活動の現状。②就職活
動のスケジュール。③子供との接し

方。という3項目から講演いただきました。
お話の中で、最も印象に残ったのは
「相談力」という言葉です。「困った
時は相談する」という基本的な考え方
ですが、自分の気持ちを言語化し、相
手を信じて自分を開く行為は自分自身
を助ける「力」なのだ、とお話されま
した。就職活動の際は、一人で悩んで
いないで、友達、先輩、先生や親など
身近な人に、そしてキャリアサポート
センターに「相談する」事が成功への
第一歩となることを力説されていまし
た。大学側のサポート体制が確立して
いることを心強く感じると共に、この
考え方が学生や保護者に浸透するこ
を願います。

親は「子供の可能性を信じ、出しゃ
ばらず、子供のよき理解者であり、応
援団である事が大切」というお話も肝
に銘じておきます。

軽食懇親会では、先生や保護者の
方々と美味しいスイーツなど食べなが
ら、情報交換ができて楽しかったです。
個人面接では、子供の学修の様子な
どを聞くことができ、ちょっと安心し
ました。

親としてできることは何か、そんな
答えを求めて来年も参加したいと思
います。貴重な機会をつくって頂きあ
りがとうございました。

広島会場

●日時：平成26年10月27日(日)
●会場：広島国際会議場
●参加数：10人
●保護者懇談会に参加して



八木宏之(山口県)
秋のさわやかな
風を受けて広島会
場での保護者懇談
会によせていただ
きました。2年前にお会いした方もお
られ、リラックスした雰囲気の中で
の会合となりました。

まず古屋心理学部長より「現在の

学状況」をお聞きし「人口減によ
る『全入時代』のおそれはあるものの、
しっかりした母体のある大学は大丈夫
だろう」と思っていました。「大学の
自由度の高まりと逆に評価という洗礼
や受験者数の増減の波を受け、大学も
進んでいる」とのお話があり、運営に
当たっておられる方々の苦労を感じる
ことができました。自分たちの学生時
代の、経済的にはオイルショック後の
厳しい世の中であったものの、のんび
りとした世代とは一味違う学生生活を
過ごしていると感じました。立正大学
にお世話になることができ良い師・先
輩・友の方々に出会え、その「ご縁」
に感謝しています。

下垣キャリアサポートセンター長よ
りは「父母のための就職講座」のお話
がありました。幸いにも一応内定を得
た親の状況だったので「安心感」と「客
観的」に聞くことができたと思いま
す。相談することが重要であることな
ど、お話しいただいた事項はいずれも
現実には我が息子にも起こったこと
もあり、身につまされることが多くあ
りました。

親としては温暖で住みやすい山口に
帰ってもらいたいという希望もありま
したが、自由な選択の中で就職活動が
でき、いろんな会社・人物を見させて
もらい、それを通じて少しでも世の中
に起きている事柄に接したようです。
親としては不安感を持ちながらも見守
るだけで、最終の「二者択一」のこ
ろに立会っただけではありましたが、
自分の力で一つの山を越えてくれたこ
とに安心と喜びを感じているところ
です。

これからも「ご縁」あつてお世話に
なり、本人にとっても一番フィットし
た大学である立正大学を大切にしてい
て、より良き人生となることを親とし
ては願っております。そのためにはまず「卒
業」ですので、もう少し頑張ってい
たいものです。

終わりになりますが、本会の開催に
当たられた方々に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

校友の広場 NEWS&TOPICS

イベント情報

●学部同窓会開催案内 【社会福祉学部】

実習必勝大作戦!★子福・社福実習応援プロジェクト★

◆立正大学卒業の先生たちが集合!! 前回は満足度100%で「ためになる」との声をいただきました。実習するにあたって引き出しを多く持とう!! 評価をつける現役の先生から本音を全部聞いてちょう! 日案の相談も受けちゃいます。

◆実習で大切なことは? 手遊び? 日案って? マナー・礼儀作法など。製作&引出! 4年生生活の相談もOK!!

◆2月1日(日) 13:00~16:00 立正大学熊谷キャンパススポーツキューブ ◆参加費無料・誰でも参加可能 ◆終了後自由参加で1コイン懇親会も行います。 ◆主催:立正大学社会福祉学部 学長室校友課: ☎03(3493)6673 Email:alu@ris.ac.jp

◆詳細や他の支部・学部同窓会行事は、決定次第校友会・大学同窓会ホームページと校友会報でご案内いたします。

開催レポート

●同窓会支部総会開催報告



【栃木県】

◆支部長:大川清孝氏 (S42 仏宗卒)

◆7月27日(日) 宇都宮市:宇都宮東部ホテルグランデ

◆講演会:「マインドコントロールに脅かされる現代社会」立正大学心理学部教授西田公昭氏

◆来賓:同窓会本部副会長 西岡勇治氏 ◆参加者:32名



【長崎県】

◆支部長:峯順通氏 (S47 経営卒)

◆9月6日(土) 長崎市:サンプリエール

◆講演会:「長崎よもやま話」山口広助氏(料亭青柳番頭役・歴史・風俗研究家) ◆参加者:25名

【島根県】

◆支部長:原田明成氏 (S58 経営卒)

◆9月20日(土) 出雲市:お多幸

【新潟県】

◆支部長:水澤克夫氏 (S42 経済卒)

◆9月27日(土) 新潟市:ホテル新潟東急イン ◆講演会:「立正大学の現況と社会福祉」立正大学社会福祉学部教授 清水海隆氏 ◆立正大学橋会保護者懇談会と同時開催 ◆参加者:27名



【岩手県】

◆支部長:村野栄司氏 (S41 経済卒)

◆10月4日(土) 盛岡市:エスポワールいわて

◆講演会:「税金のあれこれー相続税を中心にー」村野栄司氏(村野栄司税理士事務所 所長) ◆参加者:18名



【愛知県】

◆支部長:澤木利氏氏 (S50 経済卒)

◆11月15日(土) 名鉄ニューグランドホテル



【長野県】

◆支部長:中島正昭氏 (S39 文史卒)

◆11月22日(土) 飯田市:シルクホテル ◆講演会:「災害と地名ー地名は生きているー」中島正昭氏(伊那谷地名研究会副会長)

【東京多摩】

◆支部長:神蔵義一氏 (S34 仏宗卒)

◆11月23日(日) 八王子市:ホテルザ・ビー八王子 ◆講演会:「放射性廃棄物の影響とその課題」立正大学名誉教授山口正己氏

【群馬県】

◆支部長:根岸衣美子氏 (S53 文英卒)

◆11月29日(土) 高崎市:高崎ビューホテル ◆講演会:「農業生産現場の現状と対応ー温暖化への適応を考えるー」赤坂一郎氏(本学経済学部卒業)



【宮崎県】

◆支部長:長友泰範氏 (S44 文地卒)

◆11月29日(土) 宮崎市:ニューウェルシティ宮崎

◆講演会:「国際協力の現場 からー途上国の現況と人々の生活ー」小野陸一氏

【山口県】

◆支部長:石川和朋氏 (S45 文地卒)

◆12月6日(土) 下関市:ふく旅庵下商會館 ◆講演会:「下関における女子教育のあゆみ」豊田滋氏(本学文学部卒業・梅光学院大学学院資料室長)

【愛媛県】

◆支部長:中臣泰齋氏 (S50 仏宗卒)

◆12月7日(日) 松山市:白魂(卒業生経営のお店)

●学部同窓会総会開催報告

【地球環境科学部】

◆学部長:高橋純氏 (H16 修地理修了)

◆10月19日(日) 巡検「深川に江戸を築地に明治を探る肖像と残像の地域層位」深川・佃田・築地界限 ◆案内:大塚昌利名助教授 松尾忠直助教(平成15年地理学科卒業) ◆11月15日(土) フィールドワーク

熊谷キャンパス ◆案内:佐竹教授

【法学部】

◆学部長:加茂佳史氏 (H17 法学卒)

◆11月23日(日) 熊谷キャンパス

●同窓会研修会開催報告



【千葉県】

◆10月4日(土)に秋の研修として「ちいさなときめき流山散策」と題して、流山おおたかの森駅から日蓮宗成願寺、利根運河「窪田酒造」見学、流山本町ガイドツアーを開催しました。当日は37名の方に参加頂き、懇親を深めることができました。

●支部・学部合同同窓会総会開催報告



【東京都支部・経済学部】

◆11月4日(火)に東京都支部・経済学部同窓会合同による秋の研修旅行「東京散策神田川クルーズ」を開催しました。当日は、日本橋船着き場から乗船し、東京名橋を船上から見学し、江戸の情緒を堪能しました。30名の方にご参加頂き、親睦を深めることができました。

【品川第2寮同窓会

一恩師 寮監 北尾義昭さんを迎えてー

立正大学郵政会副会長 星 紀之

昭和34年から38年までの間に品川区北品川に設置されていた学生寮「品川第2寮」の同窓会が去る10月24日、福島県郡山市「かんぼの宿野山」で開催され、昭和36年、昭和37年、昭和38年入寮の20名が集まりました。

この時代の入寮生は、60年安保の激動の環境下で生活し、匡会包囲の大デモ隊への参加、近隣の水産大学との寮看板の奪い合い等の小競り合いを日常茶飯事に繰り広げている血気盛んな若者達の集団の場の学生寮として、存在感を示していました。

また、寮生のほとんどが、郵政会に所属しており、年末年始の郵便局の繁忙期には率先してアルバイトにも取り組んでいる、特色のある寮生活を過ごしました。

今回の同窓会は、高知県宿毛市在住の元高知県西部地区会副会長平田郵便局長の安澤孝彦さんを中心として、企画開催されたもので、今回で第2回目の久しぶりの開催となりました。

また、今回の同窓会には、当時寮監を担当され、様々な苦労をされた北尾義昭さんにご出席頂き、同時に北尾さんの著書「立正大学に懸けた男の軌跡」の出版記念を併せて行いました。

物故者への黙祷、同窓会の代表として安澤孝彦さんからの挨拶に続き、北尾義昭さんからの出版までの苦労話と寮監時代の懐かしい苦労話が紹介され、記念品の贈呈を行い、出版を祝福しました。その後、昭和36年入寮で寮長をされた宮崎県宮崎市の矢野紘旨さんの乾杯のご発声で懇親会へと移行しました。

懇親会では、北尾義昭さんを囲み、寮生活当時の懐かしく、そして世話を焼かせた思い出話に話題が集中し、親睦を深めました。

最後に昭和37年入寮の元 三重県支部長・大河内郵便局長 清水宏幸さんによる中締め挨拶があり



次回は岐阜県での開催を確認して閉会となりました。

INFORMATION

2014年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約1,785件・535万円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込

熊谷キャンパス アカデミックキューブ

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービス

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号 ◆メールアドレス ◆勤務先または職業 ◆校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 ☎03(3493)6673 FAX:03(3493)9068 Email:alu@ris.ac.jp

専用紙は立正大学校友会ホームページ (http://alumni.rissho.jp/) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB・OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

BOOK & WORK 卒業生の書籍などの紹介



『知的探求の旅 岩手の博物館ガイドブック』

中山 敏 (文学部地理学科卒業)

岩手県立博物館 定価1,500円+税

お問合せ ☎019(661)2831 (岩手県立博物館/月曜休館日 9時30分~午後4時30分)